




西大寺三重塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	さいだいじさんじゅうのとう
所在地	岡山市東区西大寺中
指定年月日	平成3年4月5日
解説	「西大寺縁起」によると、江戸時代前期の延宝6年(1678)の建立。方三間、本瓦葺、総高22.1m、棟高15.9m。軒は二軒繁垂木、組物は蛇腹支輪、尾垂木をもつ三手先。中備は初重では中央に墓股、両柱間には蓑束、二・三重では中央柱間のみに蓑束を飾る。端正な外観は秀作の一つに数えられている。
アクセス方法	JR西大寺駅から徒歩10分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	西大寺三重塔
よみかた	さいだいじさんじゅうのとう
しょざいち (所在地)	岡山市東区西大寺中
していたひ (指定した日)	平成3年4月5日
せつめい	1678年に建(た)てられた三重塔(さんじゅうのとう)です。高さはおよそ22メートルあります。西大寺(さいだいじ)は毎年(まいねん)2月の第3土曜日に、会陽(えよう)と呼ばれる、はだかまつりを行うお寺(てら)として有名(ゆうめい)です。